

今後の宮津まちづくり会議に関する事業の方向性について

1. これまでの取組状況のおさらい（報告書（H27.11策定）の概要【別添資料参照】）

<各エリアの取組み方針>

〔浜町エリア〕

1日楽しく過ごすことができる場所を目指し、エリア全体で市内外に向けて宮津の魅力を発信していく、中心市街地の「核（拠点）」として整備を進める

〔浜町周辺エリア〕

浜町エリアと連動して賑わいを創出していくエリアとし、特に浜町エリアと宮津駅前エリアを結ぶL字型ゾーンをリード地域に設定し、賑わいづくりに重点的に取り組んでいく

<取組み事業（案）の取りまとめ>

○ワーキンググループ等での意見・アイデアを取りまとめ

■地域振興拠点に関しては、拠点のあり方まで踏み込んで検討

- ・ターゲットやコンセプト、規模などの基本的事項など大きな方向性を整理
- ・立地場所について整理すべき事項の整理

⇒ 大まかな方向性をまとめた段階であり、具体的な内容の構築はこれから

<今後の検討について>

○関係者と共にさらなる検討を加え、「事業化・具体化」を目指していく

○まちづくりに向けた「担い手育成」を進めるとともに、「地域を牽引し、行動する組織（地域リーダー）の立ち上げ」に向けた検討をしていく

■地域振興拠点に関しては、具体的な検討事項を下記のとおり整理

①立地場所

- ・「海側」と「再開発用地周辺」に区分し比較検討した結果、それぞれ一長一短あり、今後さらに検討が必要

②計画策定

- ・具体の計画策定において、経営マネージャーの存在が必要不可欠
- ・強いリーダーシップと経営的感覚をもって、実現可能な形で計画策定を実施

③当面の賑わいづくり

- ・小規模でも店舗の常設化など、より経営視点を持った取り組みを実施
- ・取り組みやすい再開発用地などを活用するとともに、徐々に海側へ広がりを持たせるなど、スピード感を持って進めていく

2. 今後の役割分担の整理（宮津まちづくり会議等の役割の整理）

<基本的な考え方>

- 構想等の取りまとめ、合意形成、進捗把握等 … 宮津まちづくり会議
- 事業化に向けた動き … 事業実施主体（事業者、市民、商工会議所、宮津市等）

3. 具体化に向けた当面の取組み事項（案）

<浜町エリアに関すること>

- 1) 地域振興拠点に関するソフト面の調査・検討（担い手確保、コンテンツ開発など）
 - 小規模店舗の常設化（取組主体：宮津商工会議所）
 - ・地域振興拠点の実現に向けた第一弾として、小規模店舗の常設化を実施
 - 商品開発等の強化（取組主体：農水商工観連携会議）
 - ・農水商工観連携会議と連携した商品開発や既存商品のブラッシュアップ等を実施
- 2) 経営マネージャーを中心とした地域振興拠点の整備計画の検討
 - 経営マネージャーの確保（取組主体：宮津商工会議所）
 - ・小規模店舗の運営と、それを踏まえた地域振興拠点の具体化を進めていくために経営マネージャーの確保を再開
 - 経営マネージャーの受入れに向けた準備・研究（取組主体：宮津商工会議所）
- 3) 地域振興拠点の立地場所に係る公共用地での実現可能性の調査・検討及び公共施設（公園、図書館など）の充実・改善に向けた方針の整理（取組主体：宮津市）

<浜町周辺エリアに関すること>

- 1) 報告書の内容の深堀、事業展開への協議
 - 具体の事業展開に向けた深堀（取組主体：宮津まちづくり会議・宮津商工会議所等）
 - ・報告書の内容をもとに、商店街など関係事業者と検討を行い、具体の事業展開の道筋を模索
- 2) 担い手の育成確保への検討
 - 人材育成や、地域を牽引し行動する組織（地域リーダー）の検討（取組主体：宮津まちづくり会議・宮津商工会議所等）
 - ・まちぐるみで取組みを実行していくための仕組みを検討